

◆ 病院概要

- 開設者名 新潟県基幹病院事業 新潟県知事 花角 英世
- 病院長名 鈴木 榮一
- 標榜診療科目

総合診療科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ科・膠原病科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、神経内科、精神科、小児科、消化器外科・一般外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科

● 使用許可病床数

	使用許可病床数(稼働病床数)	一日平均入院患者数
一般	400床(254床)	214.0人
精神	50床(50床)	34.1人
感染症	4床(4床)	0.5人

- 一日平均外来患者数 791.5人
- 医師数 常勤 80人 非常勤 5.5人
- 年間手術件数 9,178件
- 年間出産件数 677件
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況

日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、日本内分泌学会認定教育施設、日本高血圧学会高血圧認定研修施設、日本血液学会認定研修施設、日本東洋医学会認定研修施設、日本透析医学会教育関連施設、日本腎臓学会研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本呼吸器学会認定施設、日本胆道学会認定指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本IVR学会専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本精神神経学会精神科専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本乳癌学会専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、関連10学会構成腹部ステントグラフト実施施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会周産期専門医暫定認定施設、日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設、母体保護法指定医師研修医療機関、日本産科婦人科学会専門研修連携施設、日本歯科口腔外科学会認定准研修施設、日本麻酔科学会認定施設、日本病理学会研修協力施設



医学生の皆様へ

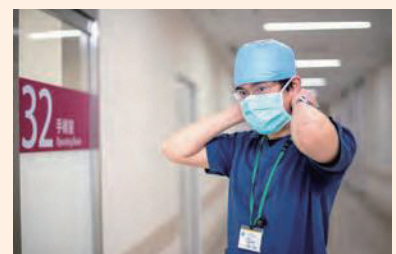
『超高齢「フレイル」社会に活躍できるジェネラリストの育成。』

魚沼基幹病院の立地する魚沼圏域は、超高齢社会の先進地です。そこで、魚沼基幹病院では『超高齢「フレイル」社会に活躍できるジェネラリストの育成。』を研修コンセプトに掲げました。総合診療マインドを育み、救急医療や専門医療を併せて研修して、ジェネラリストに求められる基本的診療能力を効率よく習得できるよう、ローテーションスケジュールと教育ツールを用意しています。

右ページの研修概要をご覧ください。1年目には、内科・外科・産婦人科・小児科・精神科に加えて、**整形外科も必修**で履修します。これにより、超高齢「フレイル」社会で幅広く対応するための基礎を造ることができます。特に、内科研修では、1年目必修の24週間に加えて選択期間でも8週間を設定し、病歴聴取、身体診察と必要十分な検査でアセスメントとプランを引き出す**「問題志向型システム」に基づいた診療スタイルを反復トレーニング**します。この際、多くの病院が採用する、内科専門科を一定期間ずつ履修する「多診療科ローテーション方式」のみでは履修順により習得知識にムラを生じ、知識の定着や統合にも影響します。そのため、魚沼基幹病院では、**総合診療（総合内科）における研修と「多診療科同時研修方式」を併用**することにより、全ての医師に求められる総合診療マインドを育みながら、一般的・全身的診療とケア、あるいは一般診療で頻繁に関わる症候を通して、**救急や外来診療からシームレスに専門医療に繋げるプロセス**を学びます。2年目になると、皮膚科や脳神経外科などの選択分野で**生涯にわたり必要とされるクリニカルスキル**を身につけながら、あらゆる世代に対応した**救命救急**を学び、**地域医療**で社会的フレイルも含めた対応を経験して、超高齢「フレイル」社会で幅広く対応するための応用力をつけます。

一方、医師臨床研修で大切なことは、正確な知識と的確な判断、そして冷静かつ確実な初期治療を行う力を身につけることに集約できますが、魚沼基幹病院では、そのための教育ツールを取り揃えています。**大学教員による専門教育**はもちろんですが、聖路加国際病院等の**県外研修病院出身者である指導医/上級医によるカンファレンス**や、**米国のホスピタリストや臨床現場と直接結んでのWebカンファレンス**も定期的実施しています。そして、自分の担当患者さんだけでは圧倒的に経験が不足する**心電図や胸部レントゲン、救急/総合診療にかかるエビデンス**についても、コアカンファレンスとして毎週開催しています。

なお、魚沼基幹病院は、**精神科病棟を備えた数少ない総合病院**であり、また、上記病院概要にもありますように、**手術件数、出産件数も県内トップクラス**で、上記ローテーションにおいても幅広く、多くの経験を積むことができます。さらに、**専門研修プログラム**についても、連携施設としては内科、外科、産婦人科、小児科、総合診療をはじめ15診療科が対応し、基幹施設としても産婦人科は整備、内科は整備中で、総合診療も準備を始めていますから、十分な指導体制下に臨床研修を行っていただくことができます。詳しくは、「**魚沼基幹 研修**」で検索、あるいは<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/>をご覧ください。



◆ Access



- JR浦佐駅からタクシーで約5分
- 関越自動車道大和スマートICから約5分

照会先

所属 事務部総務課臨床研修担当
 TEL 025-777-3200
 FAX 025-777-2811
 E-mail ukb-kenshu@ncmi.or.jp

病院見学の受入 随時

申込方法

氏名、大学名、学年、見学希望日、見学希望内容を具体的に明記してE-mailでお申し込みください。

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2021年度研修医)

●目的

医師として必要な基本姿勢・態度を身につけるために、将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する疾病や病態に適切に対応できる基本的な診療能力（態度、技能、知識）を修得します。

●特徴

本プログラムでは、超高齢社会の先進地域で幅広く診療科を経験することで、これから全国で求められるフレイルへの対応能力も備えたジェネラリストの育成を目指します。また、本臨床研修修了後に、総合診療専門医はもちろん、内科専門医や総合診療マインドを持った各科専門医を目指す研修プログラムへスムーズに繋がれることを主眼としています。当院は、ER型外来による24時間救急対応と、各科専門医が総合診療科（総合内科）担当医と協働して救急・入院患者を受け持つのが特徴です。このような特徴を活かすため、1年次に総合診療科（総合内科）に軸足を置いた内科研修と、内科専門分野およびその他診療科の研修を経験し、2年次に救急科研修を行います。これにより、ジェネラリストとして患者対応に必要な知識と技量を効率よく身につけることができます。

●研修プログラム

1 ローテーション (例)

	4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
1年目	内科 (24週)						外科 (8週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	整形外科 (4週)	選択 (4週)	
2年目	救急 (12週)			選択 (20週)				地域医療 (8週)		選択 (12週)			

2 研修分野及び期間

- 必修：内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、救急科、地域医療、一般外来
- 自由選択：以下の診療科から選択可
 救急、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、総合診療科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、神経内科、消化器外科・乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、呼吸器外科、皮膚科、麻酔科、循環器内科（立川総合病院あるいは新潟大学医歯学総合病院で実施）
- 地域医療：小出病院、南魚沼市民病院、ゆきぐに大和病院のいずれかの病院で行います。

●協力病院・協力施設

新潟大学医歯学総合病院、新潟県立十日町病院、立川総合病院、魚沼市立小出病院、南魚沼市民病院、南魚沼市立ゆきぐに大和病院

●研修医の待遇 (2021年度研修医)

<1年次>
 基本給 : 310,000円
 当直手当 : 10,500円/回
 時間外勤務手当 : 当院規定により支給
 月額計 : 477,000円程度 (時間外勤務45時間の場合)
 ※上記以外に、各種手当あり

<2年次>
 基本給 : 340,000円
 当直手当 : 21,000円/回
 時間外勤務手当 : 当院規定により支給
 月額計 : 561,000円程度 (時間外勤務45時間の場合)
 ※上記以外に、各種手当あり

●勤務体制 勤務時間 8:30~17:30

(宿直: 17:30~8:30)

●研修医当直 回数 (月平均) 4回/月 (平日当直2回、土日直2回)

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 5人
 (当直研修医数) 1人

臨床経験5年以上の当直医の指導を受ける。当直の時間には内科・外科・救急科・小児科・産婦人科の医師が必ずいるように各科のシフトを設定しているため、どのような症例にも対応できる。また不明点は指導医に気軽に聞くことができる。

●研修医の学習環境

居室 院内に研修医専用の居室あり
 図書・文献 図書室は24時間利用可能。
 国内図書 550冊、国外図書 50冊
 医学雑誌国内 25種類 国外雑誌 1種類
 UpToDate等の文献データベース有り、
 教育用コンテンツ有り
 インターネット環境 持ち込みPC等によるインターネット利用可

●研修の宿舎の有無など

宿舎 病院隣接地の研修医宿舎(1K又はDK。単身用30戸/家具付き)を使用可能(2015年完成)。Wi-Fi完備。
 使用料 居室:月額15,000円 駐車場:月額5,000円
 食事 宿舎にキッチンあり。昼食は職員食堂の利用が可能。
 院内に7:00~22:00営業のコンビニエンスストアあり。
 当院から徒歩5分圏内にもコンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターあり。

